

# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月31日

学校法人ゆうあい学園 ゆうあい幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- 健全な心身の基礎を培う
- 自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培う
- 豊かな心情や思考力の芽生えを培う
- 喜んで話したり、聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養う
- 豊かな感性を育て、創造性を豊かにする

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 自主的に生き生きと活動を展開できる環境を構成し、学びに向かう力育む。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	遊び込む経験が存分にできる環境づくりを心掛け、園の中で自由に遊べる時間・空間・遊具や素材などの環境整備を見直す。	B	学年毎の月反省の際に次の目標を決めることで意識して環境を考えることができた。話し合いを継続することで良い保育へと繋がったように思う。
2	子どもの『やりたい』という気持ちを尊重する保育者の受容的な関わり方を職員間で共有、検討する。	B	各クラスの保育を職員同士で見学しあうことで、自分自身の保育を振り返る良い機会となった。アドバイスを参考に次の保育に活かすことができた。
3	幼児の主体性について学ぶ機会を設け、保育にどのように反映していくか検討していく。	B	園内研修で他園の取り組みについて実際に講演を聴くことができて非常に良かった。改めて主体的な取り組みについて考えることができた。保育を進めるなかでしっかりと子どもの意見を聴けるように意識することが以前より増えた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	重点目標の評価項目を学期ごとに確認し、次の学期の目標を持って、保育の在り方、子どもへの対応について考えてきた。個別の職員の自己評価においても評価が昨年度より高くなっており、職員が個々に考え、他の職員と相談しながら日々の保育に向かう意識の向上が見られた。また、子どもの主体性を意識した保育について研修を行ったことで、改めて子どもに向きあう姿勢を考え、悩みながらも日々の保育の中で実践しようとする姿が見られるようになった。今後も園全体で子どもを中心とした保育の在り方を考えていきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	環境構成	幼児が主体的にかかわり、自ら活動を展開していけるような環境を構成していけるように月反省の際に遊びの環境構成について話し合う。
2	幼保小の連携	地域の小学校と連携について計画を立て、小学生と園児の交流を行い、職員同士の連携についても小学校見学や授業参観などの活動を中心にすすめていく。
3	安全管理	安全管理にかかわる各マニュアルの見直しを行う。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

園生活を園児がとても楽しんでいて、その中で相手を思いやること、自分の意見を相手に伝えることの大切さ、友達との関わり方を学ぶことができていると思う。今年度はブログの更新頻度も上がり、園での様子も伝わりやすかった。遊びを中心とした保育の素晴らしさは感じるが、教育的な面をもう少し意識して保育の中に取り入れてほしいとの意見もあり、今後検討して行って欲しい。